



～サポート室便り～



サポート室の取り組み・耳寄り情報などをお伝えします

月刊トピックス

女性支援に関する事や
情報などをご紹介します

秋季学会派遣・奨励賞の募集を行います

アイネス男女共同参画ウィーク2012

平成24年度女性研究者 秋季学会派遣支援及び奨励賞の募集を行います。申請期間は以下です。

【学会派遣】平成24年7月2日(月)～7月17日(火)

【奨励賞】平成24年7月2日(月)～7月23日(月)

その他詳細は、後日HP等でお知らせいたします。

2012年6月23日(土)～26日(火)までの間

大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)にて「アイネス男女共同参画ウィーク2012」が開催されます。

大分大学女性研究者サポート室も、活動パネル展にポスター出展をします。さらに、6月24日(日)13時～16時の映画講座の第二部トークセッションにおいて、医学部病態生理学の森島真幸先生が「なりたい自分をあきらめない」というテーマのトークセッションに参加されます。詳細については下記までお問い合わせください。

【アイネス】電話097-534-2039 FAX097-534-2057

セミナーDVD貸出について

下記のDVDが貸出可能です。

- ・5月18日男女共同参画セミナー・6月1日科研費獲得セミナー
- ご利用の方はサポート室までお問い合わせください。



大分大学の教職員の方に登場していただき、女性研究者支援について、ご自身の事、これまでに経験してきたことなどをお話していただくコーナーです。

今回ご登場していただくのは……

医学部 助教 花田 克浩さん

『子供幸福度第1位の国の子育てって？(その1)』



UNICEFの調査で、オランダが子供の幸福度の分野で第1位を獲得しました。今回はそのオランダの子育てと研究事情について紹介しようと思います。

オランダの大学でも、日本と同様、正規職員は大学の教職員など一部に限られており、研究員(ポスドクやテクニシャン)の大部分は、外部資金による雇用非正規職員です。ただし、オランダでは同じ作業をしている者の「労働の価値」を差別することが禁じられているため、正規職員と非正規職員の給与や社会保証に差がありません。分かりやすく言うと、同じ「研究」を業務とするのであれば、正規、非正規に関わらず時給や社会保障が同等ということです。

正規と非正規の待遇に2倍近くの差がある日本の国立大学とはかなり異なります。「労働の価値」が保証されていることで労働者のニーズに応じた勤務形態が可能になります。‘育休’に関しても、単純に休暇を申請する(日本型)だけでなく、勤務時間を8割や5割に減らすことも可能です。労働の時間帯を変更することも可能です。1週間分の労働時間を週4日で消化すれば週休3日が可能となり、これを夫婦で実行すれば、週4日保護者の在宅が可能になります。さらに、夫婦で勤務時間帯を調整しているケースもあり。私の同僚の場合は、女性研究者の方が午前6時に出勤し午後2時には帰宅という形態を選択していました。労働の報酬システムを変えるのは難しいですが、勤務時間帯の自由度を高めるぐらいのことは本学でもできると思うのですが、みなさんはどう思いますか？